

オガサワラカスリウスバカゲロウ

Distoleon boninensis

アミメカゲロウ目(脈翅目)
ウスバカゲロウ科

小笠原諸島

DD

環境省

【形態・生態】

体長 29～32mm。本土産のコカスリウスバカゲロウや南西諸島から太平洋諸島に広く分布するヤエヤマカスリウスバカゲロウに似る。小顎鬚末端節が長く太いことやメスの第9腹背板の後端が角張って突出すること、後翅基部から先端に向かって3/4程度の位置に褐色の斑紋を備えることなどにより、これらの種と区別される。詳しい生態は不明である。

【分布の概要】

小笠原諸島

【小笠原諸島における生息環境】

不明である。本土に分布する近縁種は幼虫が砂地に生息する。

【小笠原諸島における生存に対する脅威と保全上の留意点】

生息状況は不明である。おそらく原記載 (Adams, 1959) 以来記録がない。

【関連文献】

Adams, P. A., 1959; Kuwayama, S., 1962.



© Smithsonian Institution,
National Museum of Natural
History

(執筆: 岸本年郎)

【種名・学名などの準拠文献】

和名、学名、配列は、岸本年郎による小笠原諸島昆虫目録（暫定版 ver.20091201）を基本とし、評価者の判断により修正を加えた。

【関連文献】

Adams, P. A., 1959. Neuroptera: Myrmeleontidae and Chrysopidae. *Insects of Micronesia*, 8(2): 13-33.
Kuwayama, S., 1962. A revisional synopsis of the Neuroptera in Japan. *Pacific Insects*, 4(2): 325-412.